

司式 熊田雄二牧師  
奏楽 大日南苗香姉妹

前 奏

開 会 招 詞

\* 賛 美 歌 17:1 エサイの根より

エサイの根より おいいでたる くすしき花は 咲き染めけり  
わが主イエスの生まれたまいし このよき日よ アーメン

\* 開 会 祈 禱

罪 の 告 白 祈禱書3 罪の告白②

主なる神よ、あなたの御前に背きの罪を告白します。わたしは聖なる戒めに従わず、失われた羊のように迷い出て、思いと言葉と行いにおいて罪を犯しました。しなければならぬことをせず、してはならぬことをして、自分の身に、あなたの怒りと裁きを招きました。憐れみに富んでおられる父よ、罪と過ちを悲しむわたしに憐れみを注いでください。神の独り子である救い主の名によって、わたしを赦してください。聖霊の恵みによって、わたしを新しく生まれ変わらせてください。願わくは今から後、み栄えのために生きる者とならせてください。主イエス・キリストの御名によって。

アーメン。(詩編32、イザヤ53、ローマ7)

罪の赦しの宣言

十 戒 祈禱書4

- あなたは、わたしのほかに、何者をも神としてはならない。
- あなたは自分のために刻んだ像を造ってはならない。それにひれ伏してはならない。それに仕えてはならない。
- あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに唱えてはならない。主は、み名をみだりに唱える者を、罰しないではおかない。
- 安息日をおぼえて、これを聖とせよ。
- あなたの父と母を敬え。
- あなたは殺してはならない。
- あなたは姦淫してはならない。
- あなたは盗んではならない。
- あなたは隣人について偽証してはならない。
- あなたは隣人の家をむさぼってはならない。隣人の妻、またすべて隣人のものをむさぼってはならない。(出エジプト20、申命記5)

\* 賛 美 歌 17:2 イザヤの告げし

イザヤの告げし 救い主は きよき母より 生まれましぬ

しゆの誓いの 今しも成れる このよき日よ アーメン

共同の祈禱 祈禱書9 降誕節第二主日 受胎告知

恵み深い父なる神さま、あなたは、わたしたちを罪から救うために、神の御子を地上にお遣わしくださり、おとめマリアから生まれさせ、イエスと名づけられました。

その名は、あらゆる名の上であり、「驚くべき指導者、力ある神、とこしえの父、平和の君」と唱えられ、すべてのものの救い主であることを覚えて、心から御名を賛美します。(ガラテヤ

#### 4、イザヤ9)

献 金 (黒) 教会活動 (赤) 東部中会甲信地区伝道 70

今ささぐるそなえものを 主よ きよめて うけたまえ アーメン

聖書朗読 ルカによる福音書11章33～36節 (新約聖書129頁)

説教・祈禱 「ともし火がその輝きで」 熊田雄二牧師

#### \* 賛美歌 17:3 たえに尊き

たえに尊き イエスの御名の 香りは遠く 世にあまねし

いぎや共に 喜び祝え このよき日を アーメン

#### 聖餐式

#### \* 主の祈り 祈禱書1

天にまします我らの父よ

願わくは御名をあがめさせたまえ

御国を来たせたまえ 御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ

我らの日用の糧を 今日も与えたまえ

我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく 我らの罪をも赦したまえ

我らを試みに会わせず 悪より救い出したまえ

国と力と栄えとは 限りなく汝のものなればなり アーメン。

#### \* 頌 栄 69 父の御神に・御子に・聖き御霊に

父の御神に・御子に・聖き御霊に

昔ながらの 御栄えあれや ときわに アーメン アーメン

#### \* 祝 禱

後 奏 (黙禱)

報 告 古澤兵庫長老 (司会・受付 次週：門脇献一長老)

本日 受付 1階：大日南隆夫・大日南信也執事 2階：那珂信之執事／動画：大日南悠兄弟 録音：森川莞太兄弟

次週 受付 1階：佐藤紀子・古澤迪子執事 2階：藤原宏章執事／動画：雨宮信長老 録音：大日南信也執事

※ 2グループ制により、長老も1階と2階に一名ずつ加わります

## I 11章の中で「ともし火」が意味すること

11章は、「主の祈り」を教えてくださいという、弟子たちのお願いから始まりました。マタイ福音書が山上の説教で一まとめにしている所を、ルカはあちこちに分散させています。そこで、ルカの方針を読み取る必要があります。きょうの「ともし火」も、マタイは山上の説教に入れていますが、ルカは11章の文脈でイエス様のメッセージに聴いています。

11章は「主の祈り」を教えてくださいという、弟子たちのお願いから始まって、「求めよさらば与えられん」の結論として、「聖霊を求めよ」と言われました。マタイ福音書では「まず神の国と神の義を求めよ」と言われて、それを中心に「求めなさい。そうすれば与えられる」という祈りが教えられました。ルカ福音書は、結局何を求めよなのか、「聖霊を求めよ」でありました。13節「まして天の父は求める者に聖霊を与えてくださる」。

その次に14節から「ベルゼブル論争」と小見出しが付いている話に移っていきます。イエス様が悪霊に取りつかれて口の利けない人を癒してあげまして、群衆は驚嘆しましたが、ユダヤ教律法主義のファリサイ派は、「あの男は悪霊の頭ベルゼブルの力で悪霊を追い出している」と悪口を言いました。これは、聖霊のみわざを悪霊のしわざと言った、決して許されない罪でした。ですから、11章は、ユダヤ教律法主義のファリサイ派に対して、イエス様が容赦なく断罪するのが特徴的です。

それは、130頁の最初にある小見出しによって特に分かります。「ファリサイ派の人々と律法の専門家とを非難する」という、そのものズバリのタイトルになっています。きょうはそこに行くのではなくて、129頁の最後のところ、「体のともし火は目」という段落です。これが11章の中で意味することが、きょうのメッセージです。

## II メシアであることのしるし

イエス様が悪霊に取りつかれて口の利けない人から悪霊を追い出した時、ユダヤ教律法主義のファリサイ派は、「あの男は悪霊の頭ベルゼブルの力で悪霊を追い出している」と悪口を言いましたが、それだけではありませんでした。群衆がイエス様のことを「ダビデの子じゃないだろうか」と言い出したので、メシアであることのしるしを求めたのです。

16節の「天からのしるし」です。そこでイエス様が「しるし」についてお話になったというのが、29節からの段落「人々はしるしを欲しがる」です。

先週の説教が、この「しるし」についてでした。群衆は、多くの人を癒すメシアのしるしを見て、「この人はダビデの子ではないだろうか」と言ったのですが、奇跡的なしるしだけを見たがる者も多くなりました。そこでイエス様は、ファリサイ派も群衆も含めて、19節で「今の時代はよこしまだ。しるしを欲しがるが、ヨナのしるしのほかには、しるしは与えられない」と言われました。また20節で「つまり、ヨナがニネベの人々に対してしるしとなったように、人の子も今の時代の者たちに対してしるしとなる」と言われました。

そしてイエス様は、「ここにソロモンにまさるものがある」、「ここにヨナにまさるものがある」と言われました。「まさるもの」pleion = greater は、中性名詞なので、「まさること」だと、先週学びました。律法学者たちは、メシアであることのしるしを見せろと言ったので、イエス様は、私はヨナやソロモンよりまさる者だと言ったのでは答えにならないわけです。

「まさること」つまり、天からのしるしに関して言わなければなりませんでした。そこでイエス様は言われました。「ニネベの人々はヨナの説教を聞いて悔い改めた」「南の女王はソロモンの知恵を聞くために、地の果てから来た」。しかし見よ、「ここに天からの説教＝神の言葉そのものがある。ここに神の知恵そのものがある。」と言われました。御言葉と御業を、イエス様は十分聞かせ見せてこられました。だから、「幸いなのは私を宿した胎、私が吸った乳房ではない。幸いなのは神の言葉を聞き、それを守る人である」と言われました。

### Ⅲ ともし火

メシアのしるしを見せよと迫って来る律法学者、しるしだけを見たがる群衆の中で、聖霊は、神の言葉を聞き、それを守る幸いな信仰者を起こされます。その人はメシアのしるしを心に持っていますから、そのしるしを輝かせよと、主イエスは言われました。33節「ともし火をともし、それを穴倉の中や、升の下に置く者はいない。入って来る人に光が見えるように、燭台の上に置く。」

「升の下」というのが現代では分かりにくいですが、「升」というとひと昔前の日本では、米や豆や酒を量る四角い器を思います。木でできているので、「升の下」に置いたら

危ないじゃないかと思いますが、火を消す時にかぶせるというのだったら、指が熱くならないで済みます。文脈から言うと、信仰のともし火に被せものをして火を消すなという意味でしょう。あなたの信仰にはキリストの言葉とわざがあるのだから、そのしるしを消すなと言っておられるのです。

暗闇を照らすように、救い主はこの世にお生まれになりました。言葉なる神キリストは、罪人を照らす世の光であります。光は暗闇の中で輝いています。たとえ暗闇が光を理解しなくても、光は暗闇を知っていて、暗闇に勝利なさいます。だからキリストの光によって信仰のともし火がともったら、それを隠すな、おおうな、と言っておられるのです。むしろ、人々に見えるようにせよと。

ですから、そのあとに言っておられることが、クリスマスのこの時季、耳が痛いのです。34～36節「あなたの体のともし火は目である。目が澄んでいれば、あなたの全身が明るいが、濁ってれば、体も暗い。だから、あなたの中にある光が消えていないか調べなさい。あなたの全身が明るく、少しも暗いところがなければ、ちょうど、ともし火がその輝きであなたを照らすときのように、全身は輝いている。」

クリスマスには街のネオンに埋もれてしまって、自分の目が濁っていないでしょうか。クリスマスの夜景に埋もれて、自分の中にある光が消えていないでしょうか。クリスマスは救い主の誕生を喜び祝う教会の祭ですが、私たちの信仰が試される時でもあります。